

意識不明、呼吸あり - 回復体位

スキルシート 6



子どもの評価

- 現場が安全なら、肩を叩いたりつかんだりして大声で聞きます。「大丈夫ですか？」

反応がない!

- 誰かに通報を頼み、AED を取ってきてもらいます。
- 普通に呼吸をしているか、顔と胸を素早く観察します。

普通の呼吸がある!



準備

- 自分に近い方の腕を頭に平行に伸ばします。
- もう一方の腕を胸の上を横切って手の甲を頬にあてます。
- 向こう側の脚を膝のあたりでつかみ、膝を立てるように引き上げます。



回転させる

- 肩と腰をつかみ、自分のほうへ体を回転させます。このとき、頭、肩、胴体がねじれないように一体のものとして同時に回転させてください。
- 顔が前傾するように十分に回転させます。
- 肘と膝は、頭部と胴体を固定するように位置を整えます。



ケガの疑い

- 子どもに重傷のケガがある場合には、気道に液体が溜まっているか、他に誰もいないので救援を呼びにその場を離れなくてはならない限り、動かさないでください。
- 回転する時には、頭が延ばした腕の上であり、頭、首、胴体が直線になっていることを確認してください。

意識不明、呼吸なし - 小児の CPR

スキルシート 7



小児の評価

- 現場が安全なら、肩を叩いたりつかんだりして大声で聞きます。「大丈夫ですか？」

反応がない!

- 誰かに通報を頼み、AED を取ってきてもらいます。
- 普通に呼吸をしているか、顔と胸を素早く観察します。

普通の呼吸がない!



胸部圧迫30回

- 片手の付け根を胸骨の下半分に置きます。
- 胸の厚さの少なくとも 1/3 の深さか、5cm 位沈むように圧迫します。
- 少なくとも1分間に 100 回/分 の速度で早く圧迫します。圧迫の度に胸を完全に元の位置に戻します。
- 必要なら、成人のときのように両手で胸部圧迫をしても構いません。



レスキュー呼吸2回

- 頭部後屈あご先挙上で気道を開放します。
- 息を入れる度に胸が膨らむの見える程度で、それ以上は吹き込みません。
- 息を入れる間に新鮮な空気を吸ってください。



サイクルを繰り返す

- 胸部圧迫 30 回とレスキュー呼吸 2 回のサイクルを続けます。
- AED が到着したら、すぐに電源を入れ、AED の音声ガイドに従います。
- 他の救助者が救急隊に引き継ぐまで、子どもの生命兆候が出るまで、あるいは疲労^{こんぱい}困憊するまで続けます。

激しいアレルギー反応



アナフィラキシーと呼ばれる激しいアレルギー反応は、非常に敏感な何かに対して体の免疫系が極端に反応する状態です。激しい反応を引き起こす一般的なものには、ハチの刺し傷や、ピーナッツ、ラテックス（ゴム）、ペニシリンなどが含まれます。日本では蕎麦のアレルギーも知られています。

アナフィラキシーが発生すると、のどの腫れによって気道が狭くなり、呼吸が困難になります。ぜいぜい音が聞こえたり、唇やまぶた、顔が腫れたりすることがあります。顔や胸にかゆい腫れやじんましんが出ることもあります。吐き気や腹部のけいれんを訴えることがあります。

反応は急速に進行することがあり、一般的には、反応の発生が早ければ、それだけ重症度が増します。手当てをしないと 15 分以内に死に至ることがあります。

救急隊を呼び、楽に呼吸ができる姿勢をとらせ、衣類をゆるめます。落ち着かせ、なぐさめ、安心させてください。

アレルギー反応の病歴がある子どもはエピネフリンの自己注射器を処方され、携帯していることがあります。エピネフリンはアレルギー反応の影響を素早く改善し、命を救うことができます。この自己注射器を携帯していたら、本人が使えるように手伝ってください。子ども自身が自己注射器を使えない場合で、法的に認められているなら、あなたが代わりにエピネフリンを投与してあげることができます。

救急隊か、他の救助者が引き継いでくれるまで定期的に評価を続けてください。

※ 日本では 2008 年に、文部科学省がアナフィラキシーショックに対処するための自己注射を、本人に代わって教職員らが打つことを医師法に抵触しないとする見解を示し、翌年には発効しています。